



続
シナプス
～園長室だより～

 平成30年7月

あかるく・やさしく・たくましく

今回の内容

■いい声・いい表情・いい動き！

本当に時が経つのは早いもので、早くも1学期が終わる7月を迎えました。思えばほんの3ヶ月前の進級、入園のことが遠い昔のように感じてしまうのは、日々の生活がそれだけ充実しているからでしょうか？それとも、日々時間に追われ気がつけばという感じでしょうか？いずれにしても時間（とき）は刻一刻と全ての人に平等に流れていきます。その一瞬一瞬をどう過ごすかは自分次第という所ですが、それは子どもたちも同じです。ただ、子どもたちは自分の時間をコントロールすることはなかなかできません。なぜなら悪く言うと多くの時間は大人が支配し、コントロールしているからです。だからこそ私たちは子どもたちの時間に対してもっと意識を高く持たなければならぬのではないのでしょうか？

ひと昔前は子どもたちにも自由な時間はたくさんありました。近所の公園やそれこそ「ドラえもん」に出てくる原っぱのような所を走り回ったりして、お決まりの遊び場所があり、友だちと群れ、そしてその中から人間関係や遊び方等、様々なことを学びました。

そんな時間も場所もない今の社会だからこそ、集団生活を営む「幼稚園」こそが、その代わりに場所にならなくてはならないと考えています。

あの自由に駆け回っている時の子どもたちの表情を思い浮かべながら、そういった環境に園環境を近付ける事ができればと考えています。その一つの大きな指標が、子どもたちの『いい声・いい表情・いい動き！』です。常に子どもたちの「声」「表情」「動き」を見ながら、日々の保育を展開し、時には軌道修正も行いながらより良い保育を目指しているところですが、改めてこの3つを簡単にご説明させて頂くと、

「声」を出すということは立派な自己表現です。からしっかりとお腹から声を出すことで子どもたちの情緒が安定し、人間本性の『快』を引き出します。

「表情」はその字の如く、子どもたちの感情がそのまま顔に表れている状態です。子どもたちが今どういう感情でいるのか。どういう心の状態なのかを「表情」を見ながら探りつつ（お父さんやお母さんの顔色を伺うのとは少し違います）、子どもたちの満面の笑みを見るべく保育を展開しています。

「動き」も上に同じです。子どもたちは動くことが大好きです。だからこそ、子どもたちの動きに注視しつつ、体育ローテーションははじめ環境設定を行っているところです。

「いい声・いい表情・いい動き」が、子どもたちの日々の活動の充実度を示してくれるひとつの指標として、これからも日々の保育を展開し、子どもたちにとって充実した環境を構築できればと思います。

■園長コラム

いい声・いい表情・
いい動き！

■保育日誌から

～子どもたちの様子を先生の
観点から～

先生たちが書いている「保育日誌」から、抜粋したものを掲載！子どもたちの日常の姿を先生目線でお伝えします。

■身長・体重

そして万歩計！

月に一度行う「身体測定」の数値と子どもたちの園内での運動量を把握するために定期的に計っている「万歩計」の数値をお伝えします。